

療安全―“ギャップアプローチとポジティブアプローチ”』についてご講演をいただき、医療安全に関する内容に改めて深く考えさせられました。以上、ご指導とご協力をいただきました関係各位へ厚く感謝を申し上げ、開催の報告といたします。

第12回島根県支部学術集会

学術集会会長：出雲市立総合医療センター院長 杉山 章

2013年9月28日(土)、日本医療マネジメント学会第12回島根県支部学術集会を出雲市大社町にて開催いたしました。今年は、60年に一度の出雲大社大遷宮が行われている年にあたります。

「医療連携と地域内完結」をテーマに掲げ、特別講演では、千葉県立東金病院院長の平井愛山先生に「少子高齢化の波を乗り切る：地域連携と『疾病管理MAP』を基盤にした糖尿病重症化予防の取り組みとその成果」と題してご講演をいただきました。慢性疾患の増加に伴い、重症化予防が大切であり、そのためには技術移転、機能分担が必要であること、三次予防のヘルスケアシステムの維持が不可欠であることなどを熱く語られました。

ランチオンセミナーでは、島根大学医学部附属病院病院医学教育センター長 廣瀬昌博先生に「医療安全および感染対策における地域連携」と題して、医療従事者の不足に伴う医療安全および感染対策の必要性と今後の展望についてお話をいただきました。

さらに、シンポジウムでは“地域医療連携の現状と課題について”と題して、行政、3次・2次・1次医療機関、訪問看護、福祉サービス事業者の分野からそれぞれ1名ずつ計6名の方にご発表いただき、その後将来の展望を踏まえたご討議をいただきました。

ポスター発表では、I.医療安全①、II.医療安全②、III.医療安全③、IV.地域連携①、V.地域連携②、VI.クリティカルパス、VII.IT・情報共有、VIII.職員教育、IX.改善、見直し、X.その他の10項目として全体49題の発表となりました。

当日は、学会に350人の参加がありプログラムの時間延長を行う盛り上がった集会となりました。集会を担当して頂きました出雲市立総合医療センターのスタッフの皆様、学会担当の機会を与えていただきました関係者の方々に御礼申し上げます。

また、本集会の開催にあたり、ご協力ご支援をいただきました方々に心から感謝を申し上げ、開催の報告とさせていただきます。

第7回宮崎県支部学術集会

学術集会会長：宮崎大学医学部附属病院医療情報部准教授 鈴木齋王

2013年9月28日(土)に第7回宮崎県支部学術集会が無事開催されました。一般参加186名、学生9名でした。これに講師11名、スタッフ23名を加えると総勢229名がかか

わることとなりました。

今年例年と異なり、午前中は一般演題、午後は昼休みもなく全てを昼食を摂りながらの演習コースとして開催しました。



演習風景

一般演題では各演題の発表時間を10分、討議時間を5分と多く取り、時間を持って余すかと思われましたが、杞憂に終わりました。

演習コースは“インシデント分析”、“安全管理”、“経営分析”、“がん登録”の4コースを開催しました。本会のテーマである「医療サービスサイエンス(スタッフ実践教育)」の通り、実患者データを基に構成された教材を用いての臨場感あふれる演習であったと確信しています。演習コースの参加者はそれぞれ20名～40名でしたが、見学者も多く、椅子を追加する部屋も出たほどでした。

閉会式では参加者のほとんどが疲れた顔をされていたましたが、その一方で、満足げな顔をされていたことが成功の証のように感じられました。

第12回九州・山口連合大会

会長：国立病院機構関門医療センター病院長 佐柳 進



会場風景

2013年10月11日(金)12日(土)の2日間に渡って、「持続発展する医療の未来に～超高齢社会への医療対応」をメインテーマに、第12回九州・山口連合大会を、下関市生涯学習

プラザと海峡メッセ下関で開催しました。九州・山口各県を中心に西日本各地から1,436名の一般参加者があり、招待者と市民公開講座を加え約1,700名が参加されました。演題応募数は406題(一般口演367題、クリティカルパス39題)あり、医療現場から発信されるリアルな研究発表が7会場で熱心に討議されました。

第一会場を中心に、本学会のメインテーマである「超高齢社会への医療対応」を紐解くキーワードを取り上げて、会長講演、特別講演1題、シンポジウム3題、教育講演3題、教育セミナー3題、フリートークセッション2題、及びランチオンセミナー11題が開かれ、わが国を代表するオピニオンリーダーが多く集まり闊達な議論が展開されました。特別講演の厚労省医療課長・宇都宮 啓氏は、地域包括ケアを確実に進める重要性を強調されました。メインシンポジウムでは、長谷川 敏彦氏(日本医大特任教授)が、わが国が今日遭遇している超